

(令和6年度補正分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 宮城県石巻市  
本事業の担当部局名 復興企画部地域振興課

事業メニュー	ライフデザイン・結婚支援重点推進事業							
区分	重点メニュー							
関連事業メニュー	1.2.2 若い世代の描くライフデザイン支援							
個別事業名	石巻市子育て参加促進事業「ライフデザインセミナー事業」					新規/継続 (一般財源での実施も含む)	継続	
実施期間	令和7年4月1日		～	令和8年3月31日		事業開始年度	平成27年度	
総事業費(A)(円)	2,135,148		寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0		差引額(A-B)(円)	2,135,148	
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額	2,135,148							
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費	
	総事業費	0	0	0	0	0	0	
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	区分	委託料	使用料及び賃借料	備品購入費	負担金	補助金	計	
	総事業費	2,135,148	0	0	0	0	2,135,148	
	対象経費支出予定額	2,135,148	0	0	0	0	2,135,148	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
	自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け	<p>&lt;自治体における少子化対策の全体像&gt;※全事業共通 前年度に引き続き、思春期の中学生に対して命の尊さと子育てに対する理解を深める講義・体験を行うライフデザインセミナー事業を実施するとともに、圏域内の事業者等に対しワーク・ライフ・バランスを実現できる組織環境整備への働きかけを行うため、子育てしやすい職場環境整備推進事業を実施する。また、未婚・晩婚化の抑制を図るために、結婚に伴う新生活のスタートアップにかかる費用の支援を行う。</p> <p>&lt;本個別事業の位置付け&gt; 少子化が進行し、若い世代が、普段の生活の中で乳幼児とふれあう機会が少なくなっていることから、中学生に対して命の尊さと子育てに対する理解を深める講義・体験を行うとともに、子育て家庭に対して、社会とのつながりの場を提供し、結婚・子育てに温かい社会づくり・機運醸成を図ることで、少子化対策に資する取組を行うものである。</p>						
個別事業の内容	番号	項目	内容					
	1	講義・体験・乳幼児とのふれあいの実施	<p>○事業前アンケート 子育て等に関してどの程度興味関心があるかをアンケートによる確認を行うほか、助産師に聞きたいことなどを盛り込み、各学校の生徒に合わせた内容の講義を実施する。</p> <p>○講義 (1)思春期の体の変化～生殖～命の誕生～子育ての一連を学ぶことで、自らの体に対する認識を強めると同時に、命の尊さ、特に自分の命の尊さに気づくことで自己肯定感の強化を図る。 また、結婚、妊娠・出産、子育てなど、自身の将来設計についてイメージさせるため、助産師の実体験や経験に基づいた内容と事前アンケートにおける生徒からの質問に対する回答を講義内容に盛り込むことで、自分自身の身近なものとして考え、将来に対して明るい希望を持てるよう、生徒の意識醸成を図る。 (2)親や友人、異性に対する思春期の心の動きを学び、健全な心の育成の一助とすると同時に、性をはじめ多様な人間のあり方への理解促進を図る。 (3)子育てや妊娠などについて、気づいたこと、普段感じていることをグループ内で共有する時間を作ることで、生徒が自発的に学ぶ機会を提供する。</p> <p>○体験 (1)妊婦ジャケット着用体験 妊婦の日常生活を送る上で大変さを身をもって体験し、妊婦や家族への思いやりの心を育む。 (2)赤ちゃん人形抱っこ体験 赤ちゃん人形を使い、赤ちゃんの重さや抱き方の基本を学ぶ。</p> <p>○乳幼児とのふれあい 実際の乳幼児と直接触れ合い、抱っこをして乳幼児の反応を受けることで、育児の難しさを学ぶとともに、親子のコミュニケーションを目の前で見ることで、家族の役割を再認識し、子育てに対する理解を深める。 また、ふれあい体験後に、実際に子育てをしている保護者から子育てをしていて楽しいことや、大変なことなど、生の声を聞く機会を設けることにより、生徒の理解促進を図る。 さらに、参加してくれた親子が育児の悩みや不安について、助産師と話をする機会を提供することで、子育て中の孤立防止や社会とのつながりの場へとつなげる。</p> <p>○事業後アンケート 講義及び体験により、子育て等に関する意識がどのように変化したかを確認する。 ○子育て世代を対象としたふれあい体験実施に係る広報・周知活動(SNSでの発信) 対象:市内中学校16校 985名</p>					

<過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)>

・今後の将来設計については、まだ先のことであり、考えられないという意見があったことから、結婚、妊娠・出産、子育てなど、自身の将来設計について少しでも明るいイメージを持てるよう、基礎的な知識だけでなく、助産師の実体験や経験に基づいた内容と、事前アンケートにおける生徒からの質問に対する回答を講義内容に盛り込むほか、グループ等で話し合う機会を提供するなど、生徒の理解促進を図っていく。  
 ・実際に子育てをしている保護者から、子育てをしていて楽しいことや、大変なことなど、生の声を聞く機会を設けることにより、子育て家庭の社会とのつながりの場の提供と、子育てに対する生徒の理解促進を図る。

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	合計特殊出生率		%	1.52 (R7年)	1.09 (R5年)
	女性人口(15~49歳)		人	21,696 (R7年)	22,114 (R6年)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.09 (R5年)	
	婚姻件数		件	343 (R5年)	
	婚姻率			2.53 (R5年)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
	(アウトプット)				
	①	参加人数	人	900	760 (R7.1.1時点)
	②	参加親子組数	組	150	140 (R7.1.1時点)
	③				
	④				
	⑤				
	(アウトカム)				
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	95	99.5 (R7.1.1)
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	—	—
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	80	—
	④	事業を通じて、命の尊さや子育てに対する理解が深まった生徒の割合	%	95	99.5 (R7.1.1)
	⑤	事業を通じて、自分自身や周囲の方を思いやる気持ちが必要だと感じた生徒の割合	%	95	—
⑥	参加親子が中学生の役に立てたと思った参加者の割合	%	95	96.4 (R7.1.1)	
⑦					
⑧					